

V. 建設業の振興と生産性向上

1. 建設業の振興と生産性向上

担い手の確保・育成

▶ 生活や経済を支える「建設業」の、担い手不足の解消に向けた取組

中学校や高校で行われている「キャリア教育」等を通じて、建設業関係者が若い世代に建設業の仕事や魅力を伝える取り組みを支援しています。また、県内技術者の技術力向上のため、資格取得に向けた講習会等を開催しています。

工事の入札では、施工経験を問わず、「経験が浅い若手技術者」や「女性技術者」を工事に配置することを評価する「若手・女性チャレンジ評価型」を実施することで、建設業の新たな担い手の雇用や育成に繋がるよう取り組んでいます。

また、働き方改革の実現に向けて、県発注の建設工事において、週休2日の導入・普及に取り組んでいます。



▲「キャリア教育」の様子



▲資格取得に向けた講習会の様子

DXの推進

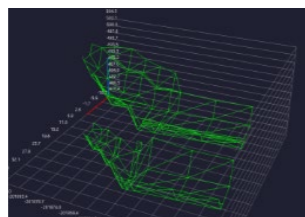
▶ 建設現場の生産性向上への取組

建設現場の効率化や品質・安全性の向上などの生産性向上を目的として、インフラ分野におけるDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進しています。

ICT活用工事、遠隔臨場(WEB会議システム等を利用して現場での確認や立ち会いを実施)、情報共有システム(受発注者間で書類を共有)などのDXの活用に取り組みます。



▲ドローン等による3次元測量



▲3次元測量データによる設計・施工計画



▲ICT建設機械による施工



“こんな体験できる!!” 若手職員の声(中和土木事務所(入庁3年目))

土木事務所では、工事監督業務が重要な業務の一つです。右の写真は、ドローンを用いて工事の進捗状況を撮影している様子です。ドローンを用いることで広範囲にわたる工事現場全体の進捗状況の確認や状況報告に活用出来ます。

ドローンの操作のように普段の生活ではなかなか経験できないことを業務の中で体験出来るのも土木事務所働く魅力です。



▲ドローンを用いた現場状況写真撮影の様子

▶ 県内の建設業関連の優良企業を認定

TOPIC

「奈良県きらぼし建設企業応援制度」を実施!!

これからの建設業に求められる「働き方改革」や「社会貢献」などに積極的に取り組む県内の企業を「奈良県きらぼし建設企業」として認定し応援する制度を、令和4年12月から開始しました。
(令和7年1月1日時点認定事業者数:98者)

「奈良県きらぼし建設企業応援制度」
詳しくはこちら→



※認定企業は右のロゴマークを採用活動や企業広告でのPRなどに活用できます。

▶ 効率化・高度化を図るため3次元モデルの導入を進めます

TOPIC

建設生産・管理システムの効率化・高度化を図るBIM/CIMの導入を進めます。

3次元がもたらす直接的効果



2次元図面での検討



3次元モデルでの検討

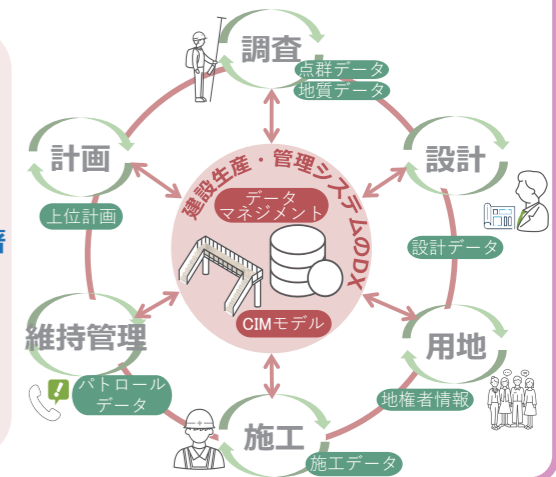
民地側が大型車からどのように見えるかなどの住民からの質問や疑問にも対応できる

BIM/CIM導入によって得られる効果

- ・ 職員の働き方改革や生産性の向上(省力化等)
- ・ 設計ミスの削減や工事の安全性向上
- ・ 住民協議の円滑化
- ・ 災害時の早期対応 等

国土交通省のBIM/CIM導入によって効率化が顕著であった課題項目

- ① 若手職員は図面を読む経験が少なく発注する工事の完成がイメージしづらい
- ② 地元など関係者と合意形成を図るための資料作成および協議に苦労



“こんな体験できる!!” 若手職員の声(建設産業課(入庁3年目))

建設業界の人手不足の解消のため、建設業の魅力を発信する動画を制作しています。

動画の企画を考えたり、関係者と調整したり、時には自分たちで撮影や編集をすることもあります。また、普段は立ち入ることができない工事現場に行き、職人さんたちにインタビューをするなど、他ではできない体験ができます。

